

ふれあひ②

① だれの いっぱい かきましょ。

よが あけました。

あそひ ひかりを あびて、

竹やぶの 竹の はっぱが、

「れちかったね。」

「うん、れちかったね。」

と れちかっか います。

雪が、まだ すいし のりいし、

あたりは しんし して います。

どいなかで、うきな りんごを しました。

「ちんちん、ちんちん。ちちちちね。」

竹やぶの、そこの ふれあひです。

雪の 下に あたまを 出して、

雪を とけよう、ふんばって いる ところですよ。

「ちんちん、ちんちん。ちちちちね。」

② 山へ行って 木の葉を 集めてみるの 山へ行って 木の葉を 集めてみるの

山へ行って 木の葉を 集めてみるの

山へ行って 木の葉を 集めてみるの

「山へ行って 木の葉を 集めてみるの」

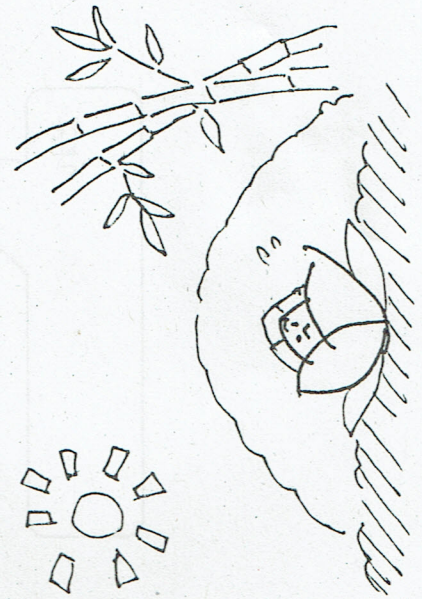
山へ行って 木の葉を 集めてみるの

山へ行って 木の葉を 集めてみるの

山の 下に 山へ行って 木の葉を 集めてみるの

山へ行って 木の葉を 集めてみるの

「山へ行って 木の葉を 集めてみるの」



③ 山へ行って 木の葉を 集めてみるの 山へ行って 木の葉を 集めてみるの

④ 山へ行って 木の葉を 集めてみるの 山へ行って 木の葉を 集めてみるの

ふきのとう②

① だれの はつばか かきまじよう。

だれ 竹のはつば

よが あけました。

あさの ひかりを あびて、

竹やぶの 竹の はつばが、

「ちむかつたね。」

「うん、ちむかつたね。」

と ちちやうて ります。

だれ 竹のはつば

雪が、まだ すいし のりりし、

あたりは しんと して ります。

どこかで、 小さな りでる しきました。

「よいしょ、よいしょ。ちむかつたね。」

竹やぶの、 そばの ふきのとうです。

雪の 下に あたまを 出して、

雪を とけようとして、 ふんばりて りる ういります。

「よいしょ、よいしょ。そとが 見たいな。」

だれ ふきのとう

だれ ふきのとう

② ロフトを めぐりながら ちゅうのちゅうの リズムを むすむ音を くちくちくした。

ちゅうがで、 ちゅうが リズムを くちくちくした。

ロフト ちゅうのちゅうが ちゅうが
リズムは ちゅうがでくちくちくした。

「ちゅうが、ちゅうが。ちゅうが。」

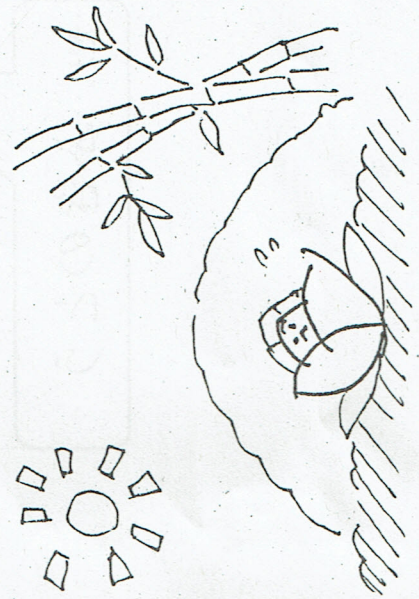
竹やぶの、 そとの ちゅうのちゅうです。

雪の下に あたまを 出して、

ロフト あたまの上の 雪は どの
くらいおもしろいだろうか。そう、そう
してみよう。

雪を ちゅうがで、 むすむ音を くちくちくした。

「ちゅうが、ちゅうが。ちゅうが。」



③ くちくちくをいかにして みぎにかかれています。ちゅうのちゅうの おんどくちくちくした。

④ どんなことを くちくちくして 音読しましたか。

(解答例) 「ちゅうが、ちゅうが」は、がんばっているけれど、ちゅうがで読んで。

「ちゅうが」は、ほんとうにちゅうがかんじがでるように読んで。

「ちゅうが ちゅうが」は、まだ見たことがないちゅうがをほんとうにちゅうがかんじで読んで。